

シンポジウム

# 人口減少社会 と 文化遺産 の 未来

過疎化・少子高齢化の進行により、地域の衰退・無住化という現実があります。多くの集落が担い手不足により豊かな伝統や文化の消滅という危機に瀕し、史跡の保存・活用に必要なパワーの維持も困難になりつつあります。このような厳しい状況下において、文化遺産の確実な継承に向け、これからの時代にふさわしい保存と活用の在り方が検討されつつあります。本シンポジウムでは、愛媛県における人口減少(人口減少社会)の動態と有形・無形文化財の分布とを重ね合わせることで、人口減少下にある/予測される地域に存する文化遺産を抽出し、地域社会と文化遺産との疎遠化の問題や、将来の文化財保護・整備・活用に対する方策を探ります。

2023年

2/23

祝  
木

13:00  
16:00

場所

愛媛大学総合情報メディアセンター  
メディアホール

定員

70名

参加  
無料

プログラム

司会 村上恭通(愛媛大学アジア古代産業考古学研究中心長・教授)

開会挨拶

若林良和(愛媛大学社会連携推進機構・機構長 理事・副学長)

主旨説明

村上恭通(愛媛大学アジア古代産業考古学研究中心長・教授)

基調講演

「過疎化と埋蔵文化財」近江俊秀(文化庁文化財部記念物課 主任調査官)

報告

「消える集落と消える文化—四国4県の集落調査から—」渡邊敬逸(愛媛大学地域協働センター 西条兼任・社会共創学部 准教授)

「地域の危機と無形民俗文化財の継承—愛媛県内の祭り・行事を事例に—」大本敬久(愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員)

「人口減少時代の文化継承の在り方—内子町におけるパブリックヒストリーの実践—」井口 梓(愛媛大学地域共創研究センター副センター長・社会共創学部 准教授)

閉会挨拶

寺谷亮司(愛媛大学地域共創研究センター長・社会共創学部 教授)

申し込み

参加登録フォーム  
(右記QRコード)



問い合わせ先

愛媛大学社会連携支援部地域連携推進室  
MAIL: chiki@stu.ehime-u.ac.jp TEL: 089-927-8512

締め切り

2023年2月16日(木)17:00

主催

愛媛大学社会連携推進機構・地域共創研究センター  
愛媛大学先端研究・学術推進機構アジア古代産業考古学研究中心

※本シンポジウムは、  
日本学術振興会科学  
研究費助成事業・  
挑戦的研究(萌芽)  
を使用いたします。